Porter Classic × 小泉今日子・高崎卓馬 対談 #1

レオ あれ、今気づいたんですけど、なんで焼けてるんですか？

卓馬さん これホノカア行って。

キョンちゃん 行ってきた？

レオ あぁ、そうかハワイか。

卓馬さん 先週行ってきて。

キョンちゃん あ、本当？

卓馬さん あの、場所借りた人達に全部挨拶に。

克 あぁ。

キョンちゃん 本当。えらいね～。

卓馬さん パティさんてビーさんのシーンの家を貸してたおばさんがまた家を改装してて町1番の面白いおばさん。すっごい面白いんだよ、そこも行って。ブレスとかも、写真全部あげてきて。
で、映画館まだポスター貼ってあるんですよ。

レオ あれずっと貼ってありますよ。2月から。

キョンちゃん でも嬉しかったと思うもん、あの映画館出て。

卓馬さん 行くとおばさんが集まってて、見た事ないおばさんが「凄い良かったわ」って。泣きそうになった。

レオ 卓馬さん、拾えないです。

卓馬さん え？

レオ 声が、拾えないです。（笑）

卓馬さん あぁ。（笑）
もともとカツゼツ悪いし。

キョンちゃん でもなんか、映画作った人とかがさその後公開になってずい分経ってそういう行脚をしてくれてるのを聞くと、ありがたいよね。関係あっても、無くても。

はーちゃん うん。ありがたいね。

克 あとさ、前にも話したけどレオさんさ、みんな1口5千円でも1万円でも良いからさ。。。

キョンちゃん うん、お墓でしょう。

克 レリーフ、なんか建てようよ。

キョンちゃん 記念碑ね。全然、いつでも。

レオ 年内にね、なんかやるらしいんですよ。お墓を。

卓馬さん ポールさん？

レオ いや、息子さんが来て。

克 ビーさん喜ぶよ。ビーさんを知ってるのは、俺とレオとキョンちゃんとだけ。

キョンちゃん そう。あと、オカマの人。（笑）

卓馬さん 最後の最後のDVDのコメンタリーを録っててその日、中目黒で飲んでる場所に偶然いたんですよ。そこにオダちゃんがいて、ずっと会ったこと無い人が「このタイミングで会えるんだって。」ちょっと感動した。

克 それで耳元でキツイこと言ってあげて。はーちゃん派とオダケ派があって、俺ギンギンにはーちゃん派だから。派閥どんどん作ってくからね。（笑）

キョンちゃん 派閥、あたしの中には無いんだけど。（笑）

克 絶対コーちゃん、はーちゃん派だよな。

コージくん 知らないよ～。（笑）

キョンちゃん コーちゃんオダケと同い年だからね。

コージくん でもあの人年とってないじゃない？

キョンちゃん 年とってるじゃない。

コージくん だってメールすると「18から年をとることをやめたから」って毎回言ってるよ。（笑）

克 もうその話聞いただけでおしりひっぱたきたくなる、バーンて。（笑）

レオ なんか、本を読んでくれた人で、「ファンです」って来られて、「ちょっと聞きたいんですけど、本の中に出てくる作詞家の、織田哲郎さんってこれなんですか？」って。

（爆笑）

キョンちゃん おだちゃんだと思ったんだ。

卓馬さん そういうことにしといたら。（笑）

はーちゃん 面白い。（笑）

キョンちゃん 織田哲郎さんだと思っちゃったんだ。（笑）

次回のアップ予定日は10月21日です。